

[省令第8条の4の5 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の8 (第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 24 日

(宛先) 長野市長 荻原 健司 様

提出者

住 所 長野県長野市中御所4丁目4番18号

氏 名 第一建設工業株式会社 長野支店

支店長 堀山 功

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 026-226-8286

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	第一建設工業株式会社 長野支店
事業場の所在地	長野県長野市中御所4丁目4番18号
計画期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	06 総合建設業
② 事業の規模	元請完成工事高 75億円
③ 従業員数	177名
④ 産業廃棄物の一連の処理工程	別紙2のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項							
(管理体制図)							
別紙2のとおり							
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項							
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管
	排 出 量	122.35t	104.20t	83.39t	26.77t	2,114.61t	57.39t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	排 出 量	15.51t	439.36t				
	(これまでに実施した取組)						
・無駄のない計画的な資材調達を行うよう努力しました。 ・建設副産物のリサイクル率向上の取組みを行っています。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管
	排 出 量	115.00t	100.00t	80.00t	25.00t	2,010.00t	55.00t
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	排 出 量	15.00t	420.00t				
	(今後実施する予定の取組)						
・建設副産物のリサイクル率向上の取組みを継続して取組んでいきます。							
産業廃棄物の分別に関する事項							
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)						
	・がれき類、木くず、金属くず、廃プラスチックの分別を徹底し、リサイクル率の向上を図っています。						
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)						
	・マニフェスト管理により分別及び再資源化の状況を把握し、適正な処理と再資源化の指導を行います。						

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
・実施していません。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
・実施する予定はありません。							

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量						
(今後実施する予定の取組)							
・実施する予定はありません。							

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管理
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量						
	(これまでに実施した取組)						
・実施していません。							
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管理
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量						
	(今後実施する予定の取組)						
・実施する予定はありません。							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 6 年度）実績】

産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード等)	がれき類(コンクリート、廃アスファルト、パッキン)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
全処理委託量	122.35t	104.20t	83.39t	26.77t	2,114.61t	57.39t
優良認定処理業者への処理委託量		1.05t	33.78t		228.33t	0.14t
再生利用業者への処理委託量	122.35t	86.50t	83.39t	16.76t	1,854.02t	31.62t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
全処理委託量	15.51t	439.36t				
優良認定処理業者への処理委託量	1.47t					
再生利用業者への処理委託量	9.54t	373.52t				
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		301.66t				

(これまでに実施した取組)

- ・リサイクル可能な処理会社を探し、委託するようにしています。
- ・委託契約書の電子化、マニフェストの電子化の推進を行い、適切な委託処理を行えるようにしています。
- ・産廃処理施設を訪問し、処理状況の確認を行うことと、再資源化や有害廃棄物の適正処理について打合せしています。

【目標】						
産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ)	建設混合廃棄物(安定型、管理型)
全処理委託量	115.00t	100.00t	80.00t	25.00t	2,010.00t	55.00t
優良認定処理業者への処理委託量		1.00t	35.00t		220.00t	0.13t
再生利用業者への処理委託量	115.00t	80.00t	80.00t	15.00t	1,760.00t	30.00t
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量						
産業廃棄物の種類	紙くず	木くず				
全処理委託量	15.00t	420.00t				
優良認定処理業者への処理委託量	1.42t					
再生利用業者への処理委託量	9.00t	360.00t				
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量		290.00t				
(今後実施する予定の取組)						
・再資源化のための処理技術、有害廃棄物の適正な処理について情報収集を行い、適切な管理ができるようにします。 ・がれき類の再資源化をさらに推進します。						

※事務処理欄

(第6面)

備 考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（産業廃棄物の実績及び計画の量）

処 理 事 項		産 業 廃 棄 物 の 種 類（実績値・計画値）											合 計
		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール等)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器等	がれき類(コンクリがら、廃材等)	建設混合廃棄物(安定型、管型等)	紙くず	木くず				
排出抑制に関する事項	前年度排出量(実績)	122.35t	104.20t	83.39t	26.77t	2,114.61t	57.39t	15.51t	439.36t				2,963.58t
	本年度排出量(計画)	115.00t	100.00t	80.00t	25.00t	2,010.00t	55.00t	15.00t	420.00t				2,820.00t
自ら行う(行った)再生利用に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
自ら行う(行った)中間処理に関する事項	自ら行う(行った)熱回収の量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	自ら中間処理により減量する(した)量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
自ら行う(行った)埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	前年度実績												
	本年度計画(目標)												
処理の委託に関する事項	全処理委託量	前年度実績	122.35t	104.20t	83.39t	26.77t	2,114.61t	57.39t	15.51t	439.36t			2,963.58t
		本年度計画(目標)	115.00t	100.00t	80.00t	25.00t	2,010.00t	55.00t	15.00t	420.00t			2,820.00t
	優良認定処理業者への処理委託量	前年度実績		1.05t	33.78t		228.33t	0.14t	1.47t				264.77t
		本年度計画(目標)		1.00t	35.00t		220.00t	0.13t	1.42t				257.55t
	再生利用業者への処理委託量	前年度実績	122.35t	86.50t	83.39t	16.76t	1,854.02t	31.62t	9.54t	373.52t			2,577.70t
		本年度計画(目標)	115.00t	80.00t	80.00t	15.00t	1,760.00t	30.00t	9.00t	360.00t			2,449.00t
	認定熱回収業者への処理委託量	前年度実績											
		本年度計画(目標)											
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績							301.66t				301.66t
		本年度計画(目標)							290.00t				290.00t

【記載方法】

- ・ 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績（現状）を、下段に本年度の目標（計画）の産業廃棄物の量を記載してください。
- ・ 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- ・ 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。